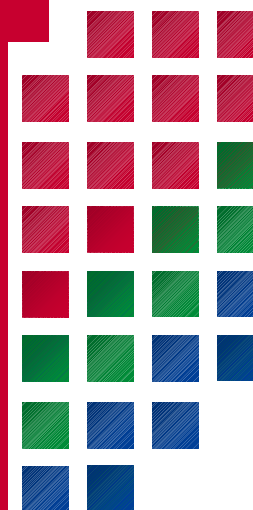


2021年3月期 第3四半期決算の概要

2021年 2月 12日



日本郵政グループ 決算の概要

■ 2021年3月期 第3四半期（累計）の経営成績

（億円）

	日本郵政グループ			
	日本郵便	ゆうちょ銀行	かんぽ生命	
経常収益	87,005	29,085	13,137	51,273
前年同期比	△ 3,540 (△ 3.9%)	△ 235 (△ 0.8%)	△ 447 (△ 3.2%)	△ 3,342 (△ 6.1%)
経常利益	7,088	1,156	3,139	2,608
前年同期比	+ 199 (+ 2.9%)	△ 375 (△ 24.5%)	+ 246 (+ 8.5%)	+ 269 (+ 11.5%)
四半期純利益	3,900	807	2,263	1,290
前年同期比	△ 319 (△ 7.6%)	△ 551 (△ 40.6%)	+ 162 (+ 7.7%)	+ 140 (+ 12.2%)

■ 2021年3月期 通期業績予想（2020年11月公表）

経常利益	6,200	400	3,750	2,000
(3Q進捗率)	(114.3%)	(289.0%)	(83.7%)	(130.4%)
当期純利益	3,400	0	2,700	1,240
(3Q進捗率)	(114.7%)	(-%)	(83.8%)	(104.0%)

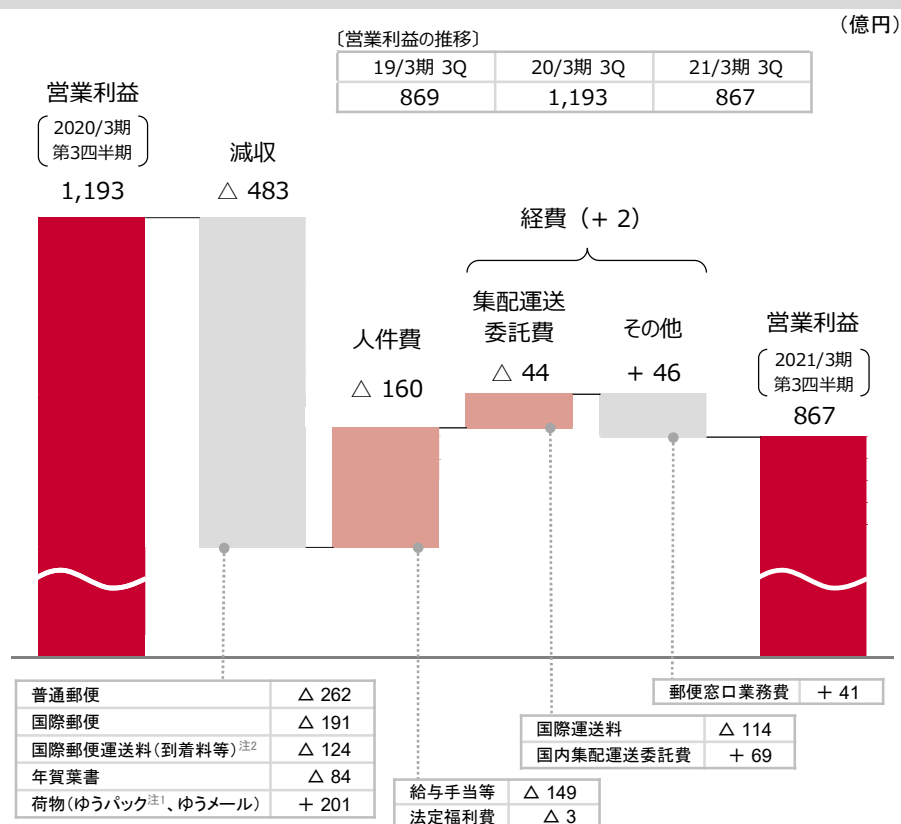
注1: 億円未満の決算数値は切捨て。また、日本郵政グループ数値と各社数値の合算値は、他の連結処理(持株会社・その他子会社の合算、グループ内取引消去等)があるため一致しない。

注2: 各社の数値は、各社を親会社とする連結決算ベース。また、「四半期純利益」及び「当期純利益」は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」及び「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値。

郵便・物流事業 決算の概要

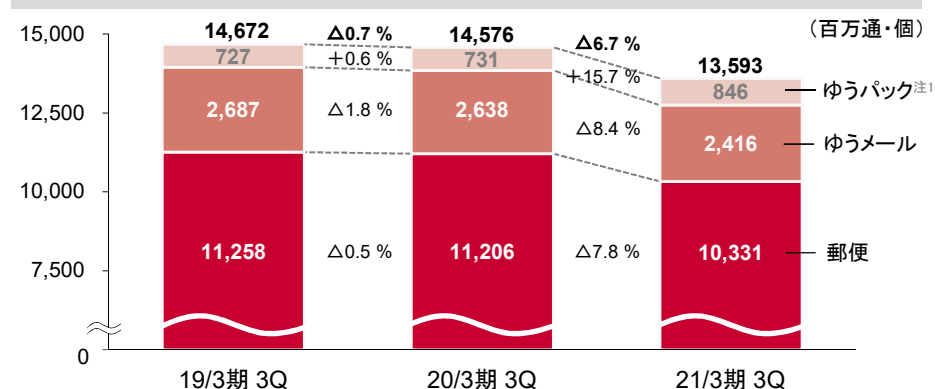
- 取扱数量は、引き続き新型コロナの影響を主因として累計6.7%減（郵便は7.8%減、ゆうメールも8.4%減）。うち、ゆうパック^{注1}は、巣ごもり消費増加等に伴うEC利用の拡大が続き、累計15.7%増（ゆうパケットは23.9%増）。
- 営業収益は、荷物の増収を普通郵便・国際郵便の減収が上回る状態が続いていることに加え、年賀葉書の減収もあり、前年同期比483億円（3.0%）の減収。
- 営業費用もコストコントロールの取組等により引き続き減少したものの、営業利益は前年同期比325億円（27.3%）の減益。

営業利益の増減分析(前年同期比)



注1：「ゆうパック」には、ゆうパケットを含む。
 注2：国際eパケットライト郵便物等に係る過年度の過大計上の一括補正(△70億円)を含む。

取扱数量の推移



当第3四半期(累計)の経営成績

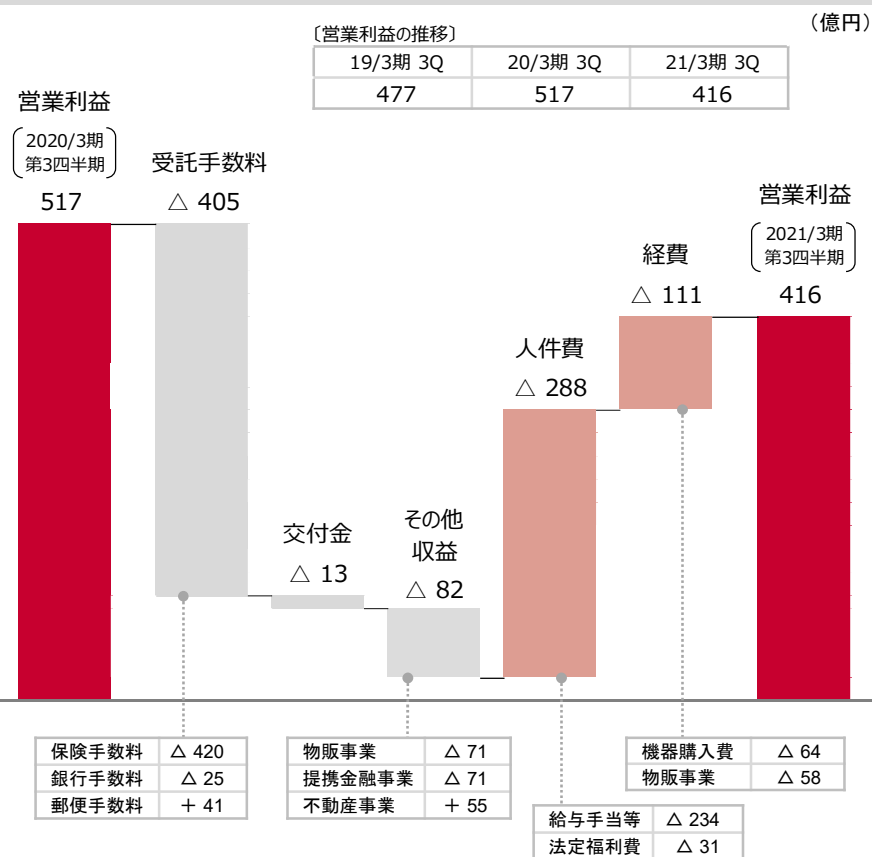
(億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
営業収益	15,533	16,016	△ 483
営業費用	14,665	14,823	△ 158
人件費	9,267	9,428	△ 160
経費	5,397	5,395	+ 2
営業利益	867	1,193	△ 325

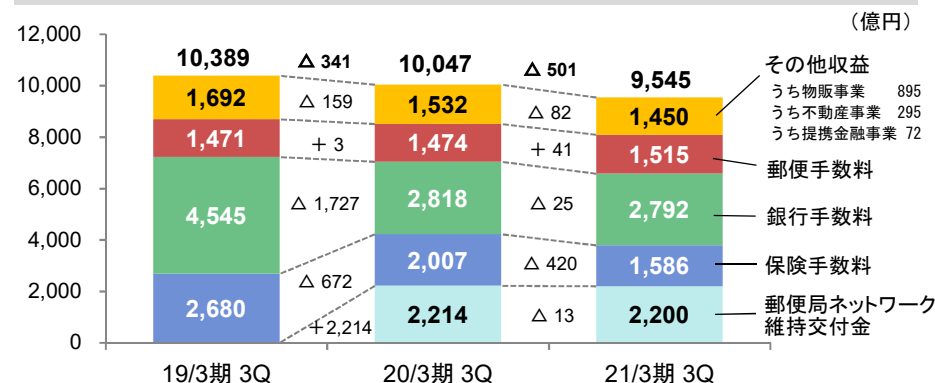
金融窓口事業 決算の概要

- 営業収益は、保険手数料について、かんぽ生命との間で継続協議としていた当年度分の見直しを反映（4月分からの差額を12月に一括で計上）したものの、累計では大幅な減少。物販事業や提携金融事業の減収も続き、前年同期比501億円（5.0%）の減収。
- 営業費用もかんぽ商品の販売に係る営業手当の減少等により減少したものの、営業利益は前年同期比101億円（19.7%）の減益。

営業利益の増減分析(前年同期比)



収益構造の推移



当第3四半期(累計)の経営成績

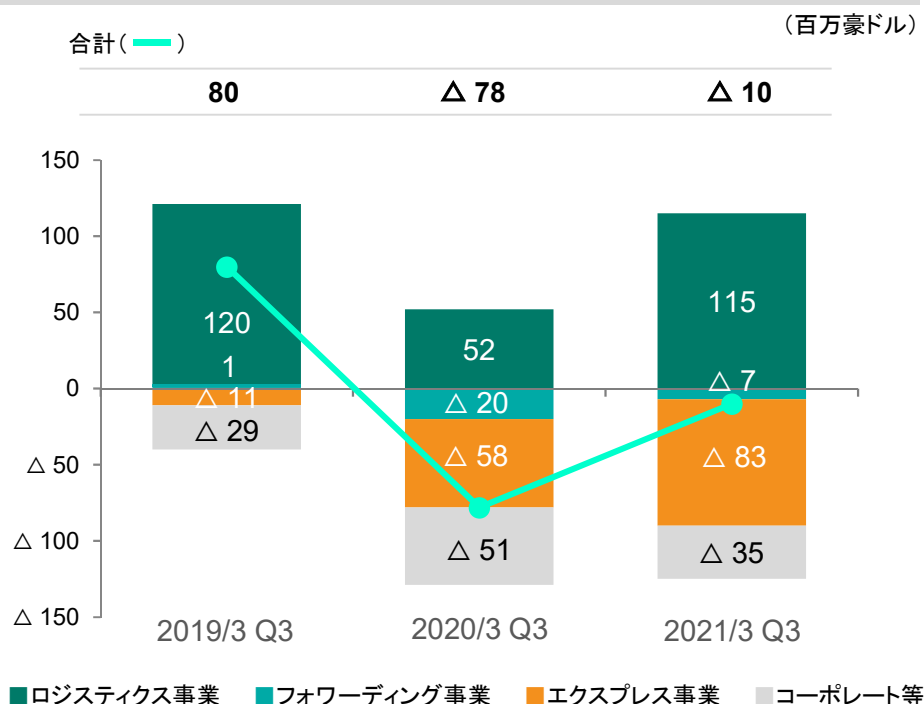
(億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
営業収益	9,545	10,047	$\Delta 501$
営業費用	9,129	9,530	$\Delta 400$
人件費	6,309	6,597	$\Delta 288$
経費	2,820	2,932	$\Delta 111$
営業利益	416	517	$\Delta 101$

国際物流事業 決算の概要

- 営業収益は、引き続きロジスティクス事業アジア部門における新型コロナ感染予防対策物資の大口取扱いを主因として、前年同期比1,099百万豪ドル(16.9%)の増収。
- 営業費用は、エクスプレス事業におけるコスト削減等により営業収益の増加を下回り、営業損益(EBIT)は10百万豪ドルの赤字となったものの、赤字幅が前年同期から68百万豪ドル縮小。

事業別の営業損益(EBIT)の推移



当第3四半期(累計)の経営成績

(百万豪ドル、下段括弧内は億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
営業収益	7,593 (5,641)	6,493 (4,864)	+ 1,099 (+ 777)
営業費用	7,603 (5,649)	6,572 (4,923)	+ 1,031 (+ 725)
人件費	1,944 (1,445)	2,109 (1,580)	△ 164 (△ 135)
経費	5,658 (4,204)	4,462 (3,343)	+ 1,195 (+ 860)
営業損益(EBIT)	△ 10 (△ 7)	△ 78 (△ 59)	+ 68 (+ 51)

注1: 営業収益、営業費用及び営業損益(EBIT)は、ツール社、JPTツールロジスティクス社及びツールエクスプレスジャパン社の数値の合計額をそれぞれ記載。

注2: 2020/3期からのIFRS第16号(リース)適用により、グラフ及び表の2021/3期及び2020/3期の数値はIFRS第16号(リース)適用後の数値を記載。

注3: 2021/3期からのセグメント間の一部事業の組替えにより、グラフの2020/3期及び2019/3期の数値を組替え(それぞれ全体合計額は一致)。

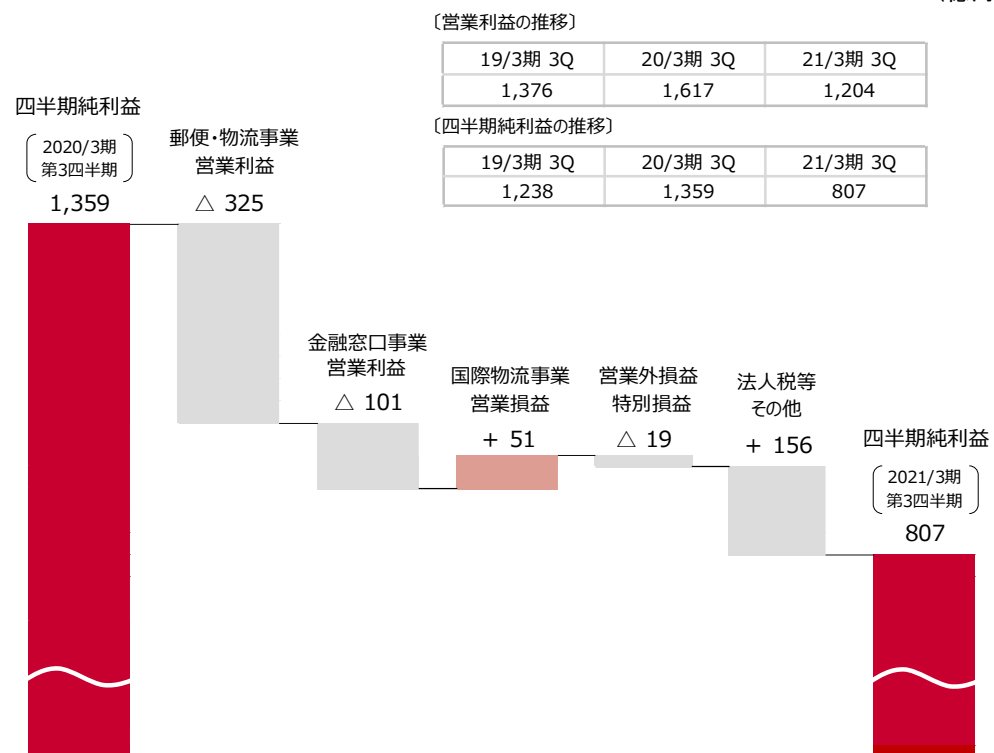
注4: 表の下段括弧内は期中平均レート(2021/3期第3四半期 74.30円/豪ドル、2020/3期第3四半期 74.92円/豪ドル)での円換算額をそれぞれ記載。

日本郵便 決算の概要（まとめ）

- 営業収益は、前年同期比257億円（0.9%）の減収（うち、為替影響による減少が36億円）。
- 営業利益は、郵便・物流事業及び金融窓口事業の減益により、前年同期比412億円（25.5%）減の1,204億円。経常利益は375億円（24.5%）減の1,156億円、四半期純利益は551億円（40.6%）減の807億円。

四半期純利益の増減分析(前年同期比)

(億円)



当第3四半期(累計)の経営成績

(億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
営業収益	29,035	29,293	△ 257
営業費用	27,830	27,676	+ 154
人件費	17,022	17,606	△ 584
経費	10,808	10,070	+ 738
営業利益	1,204	1,617	△ 412
経常利益	1,156	1,531	△ 375
特別損益	△ 48	6	△ 55
税引前四半期純利益	1,107	1,538	△ 431
四半期純利益	807	1,359	△ 551

ゆうちょ銀行（単体） 決算の概要

当第3四半期(累計)の経営成績

(億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
業務粗利益	10,414	10,161	+ 253
資金利益	7,032	7,526	△ 493
役務取引等利益	977	983	△ 5
その他業務利益	2,404	1,651	+ 752
うち外国為替売買損益	2,261	1,589	+ 672
うち国債等債券損益	143	70	+ 73
経費 ^{注1}	7,584	7,692	△ 107
一般貸倒引当金繰入額	—	—	—
業務純益	2,829	2,469	+ 360
臨時損益	305	422	△ 117
経常利益	3,135	2,892	+ 243
四半期純利益	2,257	2,097	+ 160
(参考:連結決算情報)			
経常収益	13,137	13,584	△ 447
経常利益	3,139	2,892	+ 246
四半期純利益 ^{注2}	2,263	2,100	+ 162

注1: 臨時処理分を除く。

注2: 親会社株主に帰属する四半期純利益の数値を記載。

注3: 未払利子を除く。

概要

- 当第3四半期(累計)の業務粗利益は、前年同期比253億円増加の1兆414億円。
このうち、資金利益は、低金利環境の継続など厳しい経営環境下、有価証券利息が減少し、前年同期比493億円の減少。
役務取引等利益は、前年同期比5億円の減少。
その他業務利益は、外貨調達コストの低下もあり、前年同期比752億円の増加。
- 経費は、前年同期比107億円減少の7,584億円。
- 業務純益は、前年同期比360億円増加の2,829億円。
- 経常利益は、前年同期比243億円増加の3,135億円。
- 四半期純利益は、2,257億円、前年同期比160億円の増益。

(億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期	増減
貯金残高 ^{注3}	1,897,530	1,830,047	+ 67,482

ゆうちょ銀行（単体） 資金利益の内訳等

資金利益の内訳

(億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
資金利益	7,032	7,526	△ 493
資金運用収益	8,806	10,097	△ 1,291
うち国債利息	2,826	3,319	△ 493
うち外国証券利息	5,337	5,988	△ 650
資金調達費用	1,773	2,571	△ 797

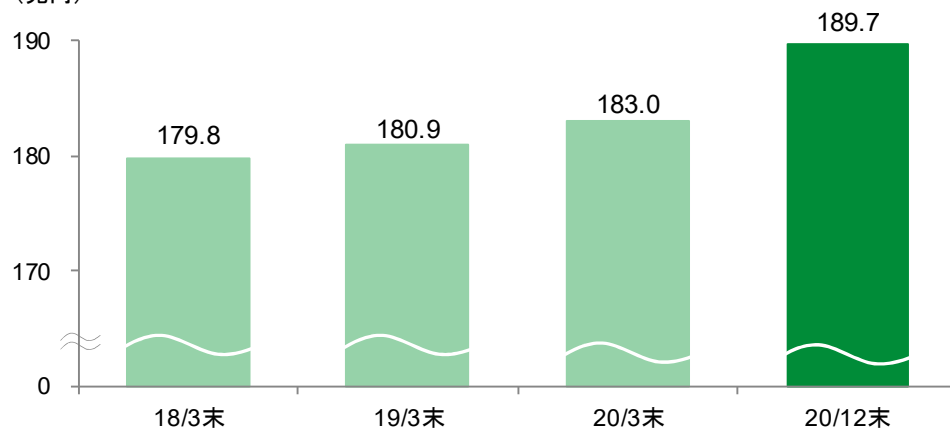
役務取引等利益の内訳

(億円)

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
役務取引等利益	977	983	△ 5
為替・決済関連手数料	635	609	+ 26
ATM関連手数料	152	138	+ 14
投資信託関連手数料	111	169	△ 57
その他	76	66	+ 10

貯金残高

(兆円)



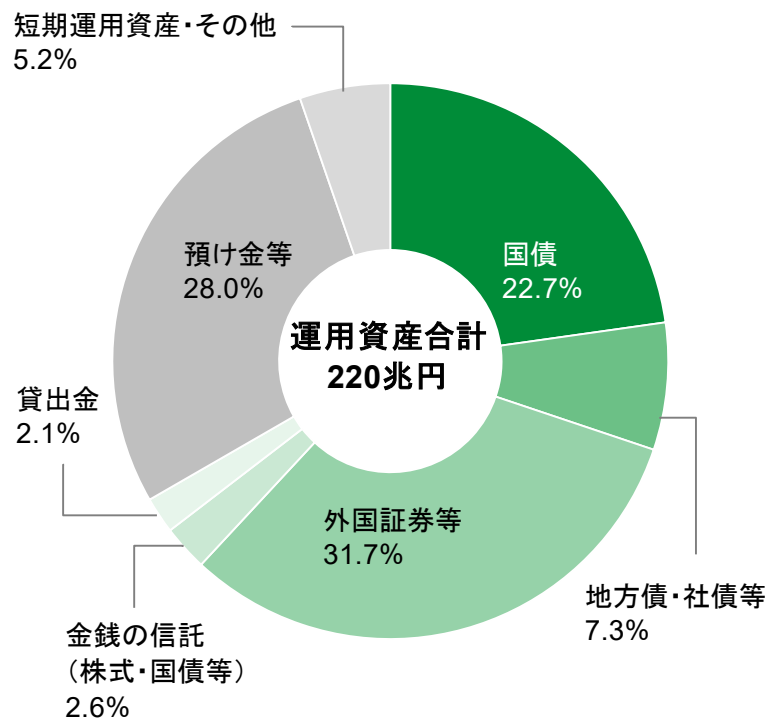
注: 表示単位未満は切捨て。

投資信託の取扱状況（約定ベース）

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	増減
販売件数(千件)	2,653	2,258	+ 395
販売額(億円)	2,120	5,626	△ 3,505

	2020/12末	2019/12末	増減
保有口座数(千口座)	1,216	1,179	+ 37
純資産残高(億円)	25,010	25,925	△ 914

ゆうちょ銀行（単体） 資産運用の状況



(億円)

	2021/3期 第3四半期	構成比 (%)	2020/3期	構成比 (%)	増減
有価証券	1,366,889	61.9	1,351,984	65.1	+ 14,904
国債	502,856	22.7	536,361	25.8	△ 33,504
地方債・社債等 ^{注1}	163,141	7.3	159,048	7.6	+ 4,093
外国証券等	700,890	31.7	656,575	31.6	+ 44,315
うち外国債券	224,104	10.1	237,068	11.4	△ 12,963
うち投資信託 ^{注2}	476,112	21.5	419,010	20.1	+ 57,102
金銭の信託 (株式・国債等)	58,745	2.6	45,497	2.1	+ 13,248
うち国内株式	23,518	1.0	18,596	0.8	+ 4,922
貸出金	46,727	2.1	49,617	2.3	△ 2,890
預け金等 ^{注3}	619,231	28.0	514,854	24.8	+ 104,376
短期運用資産・ その他 ^{注4}	116,154	5.2	113,242	5.4	+ 2,911
運用資産合計	2,207,747	100.0	2,075,196	100.0	+ 132,551

注1: 「地方債・社債等」は地方債、短期社債、社債、株式。
 注2: 投資信託の投資対象は主として外国債券。
 注3: 「預け金等」は譲渡性預け金、日銀預け金、買入金銭債権。
 注4: 「短期運用資産・その他」はコールローン、買現先勘定等。

当第3四半期(累計)の経営成績

	2021/3期 第3四半期	2020/3期 第3四半期	(億円、%) 増減
経常収益	51,273	54,615	△ 3,342
経常費用	48,664	52,275	△ 3,611
経常利益	2,608	2,339	+ 269
四半期純利益	1,290	1,150	+ 140
(参考: 単体決算情報)			
基礎利益	3,097	3,004	+ 92
キャピタル損益	△ 420	△ 574	+ 154
臨時損益	△ 76	△ 87	+ 10
経常利益	2,600	2,342	+ 257
個人保険 新契約 年換算保険料	223	1,438	△1,215
	2021/3期 第3四半期	2020/3期	増減
個人保険 保有契約 年換算保険料 ^{注1}	39,955	43,186	△ 3,230
連結ソルベンシー・ マージン比率	1,156.7	1,070.9	+ 85.8
連結実質純資産額	125,522	123,509	+ 2,012

注1: 保有契約には簡易生命保険の保険契約を含む。簡易生命保険の保険契約は、独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険の保険契約をいう。

注2: 金額は億円未満を切捨て。

注3: 第三分野の新契約及び保有契約年換算保険料の数値は、P10「保険契約の状況」を参照。

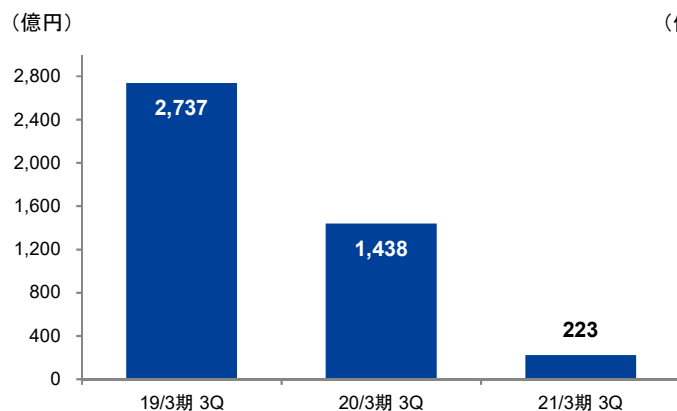
概要

- 新契約の減少に伴う事業費の減少等により、経常利益は、前年同期比269億円増の2,608億円。四半期純利益は、前年同期比140億円増の1,290億円。
- 新契約年換算保険料は、個人保険・第三分野ともに前年同期比で大幅に減少。保有契約年換算保険料も、個人保険・第三分野ともに前期末比で減少。^{注1、注3}
- 危険準備金および価格変動準備金を合計した内部留保額は、2兆6,687億円。健全性の指標である連結ソルベンシー・マージン比率は、1,156.7%、連結実質純資産額は、12兆5,522億円と引き続き高い健全性を維持。

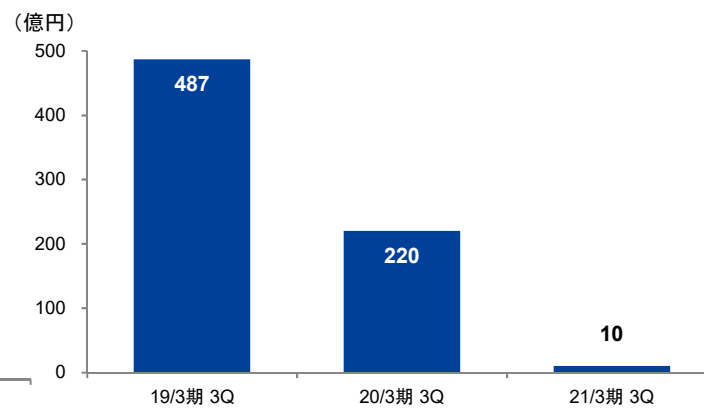
かんぽ生命 保険契約の状況

新契約

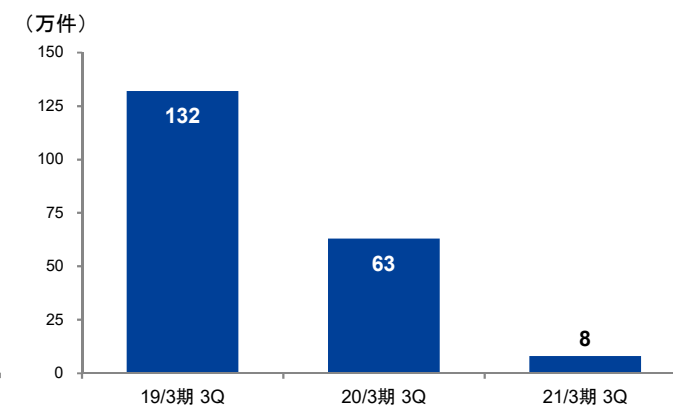
新契約年換算保険料（個人保険）



新契約年換算保険料（第三分野）

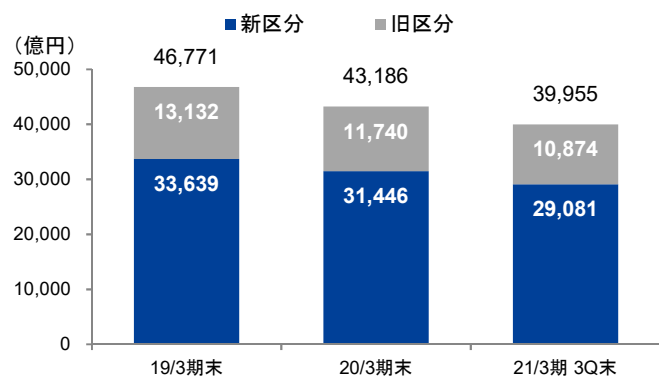


新契約件数（個人保険）

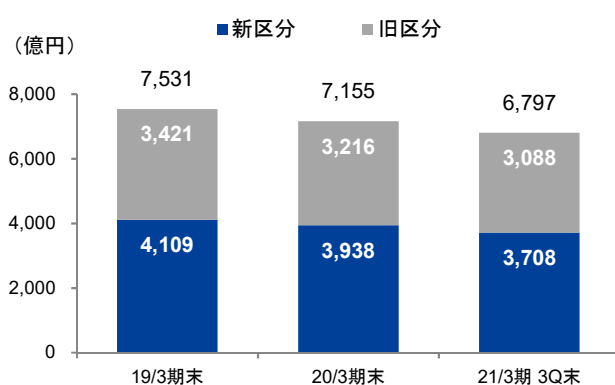


保有契約

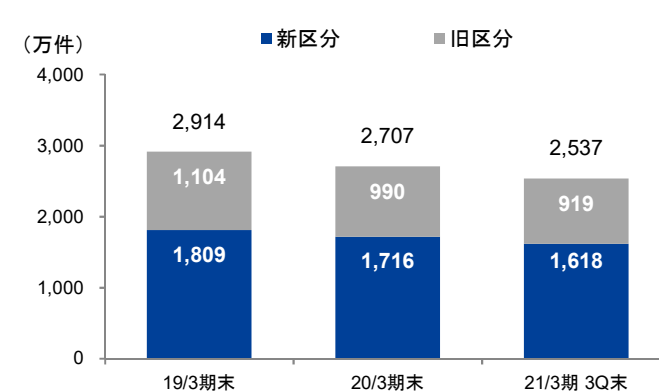
保有契約年換算保険料（個人保険）



保有契約年換算保険料（第三分野）



保有契約件数（個人保険）



注1: 年換算保険料は億円未満、契約件数は万件未満を切捨て。

注2: 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額（一時払契約等は、保険料を保険期間等で除した金額）。

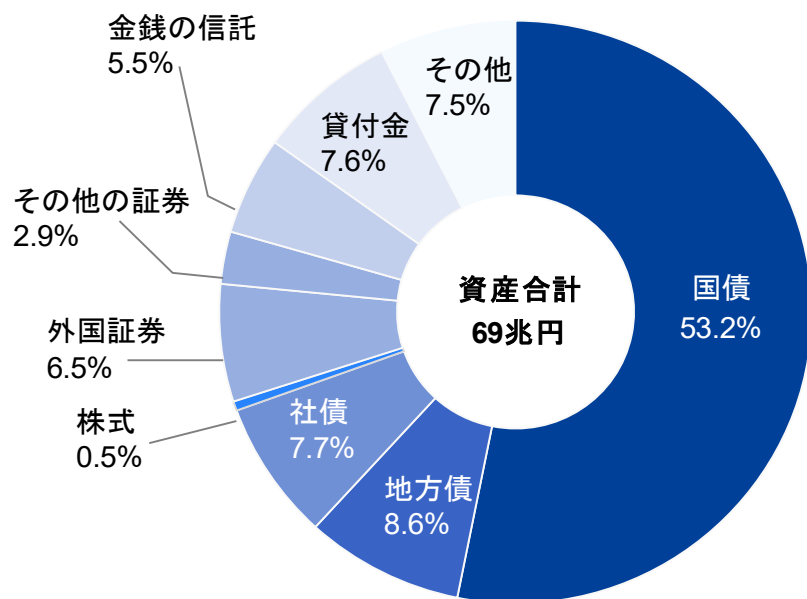
年換算保険料（個人保険）は個人保険に係る第三分野を含み、年換算保険料（第三分野）は個人保険と個人年金保険に係る第三分野の合計値。

注3: 「新区分」は、かんぽ生命保険が引受けた個人保険を示し、「旧区分」は、かんぽ生命保険が独立行政法人郵便貯金簡易生命保険管理・郵便局ネットワーク支援機構から受再している簡易生命保険契約（保険）を示す。

かんぽ生命 資産運用の状況

(億円)

	2021/3期 第3四半期	構成比 (%)	2020/3期	構成比 (%)	増減
有価証券	553,617	79.4	558,705	78.0	△ 5,087
国債	370,428	53.2	367,307	51.3	+ 3,120
地方債	60,155	8.6	67,373	9.4	△ 7,217
社債	53,792	7.7	54,863	7.7	△ 1,071
株式	3,685	0.5	2,859	0.4	+ 825
外国証券	45,399	6.5	46,873	6.5	△ 1,473
その他の証券	20,155	2.9	19,427	2.7	+ 728
金銭の信託	38,039	5.5	30,560	4.3	+ 7,478
貸付金	53,165	7.6	56,627	7.9	△ 3,462
その他	52,018	7.5	70,754	9.9	△ 18,735
総資産	696,840	100.0	716,647	100.0	△ 19,807



2021年3月期通期業績予想

■ 業績予想

かんぽ生命においては、資産運用環境が好転したことや保険金等の支払いが想定よりも減少することなどを踏まえ、業績予想を上方修正する。

他方、グループ連結においては、かんぽ生命の当期純利益のうちグループ連結に反映されるのは、当社による株式保有割合に応じた部分であること、他の子会社が業績予想を据え置くこと等を総合的に考慮し、据え置くこととする。

(億円)

	経常利益	増減 (11月時点業績予想比)	
		当期純利益	増減 (11月時点業績予想比)
日本郵政グループ	6,200	—	—
日本郵便	400	—	—
ゆうちょ銀行	3,750	—	—
かんぽ生命	3,000	+ 1,000	+ 330

注1: 上記はいずれも連結決算ベースの数値であり、当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」の数値を記載。

注2: 日本郵政の当期純利益は、現時点の金融2社株式議決権比率(ゆうちょ銀行:約89%、かんぽ生命:約64%)等に基づき算出。

■ 株主還元

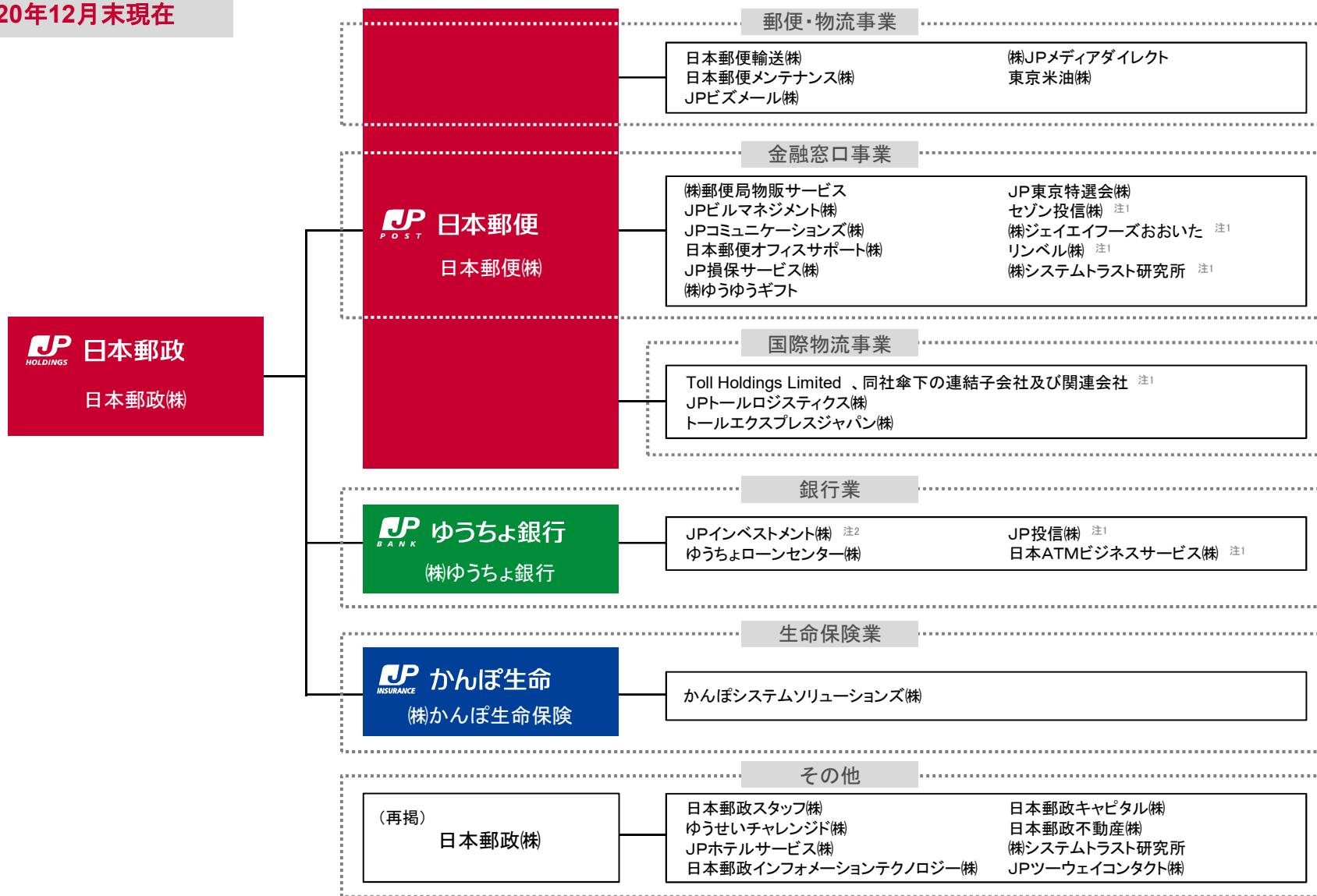
配当予想の修正は行わない。

1株当たり 配当	中間配当	期末配当
50円	0円	50円

※ 日本郵政株式会社法第11条に基づき、日本郵政の剰余金の配当その他の剰余金の処分(損失の処理を除く。)については、総務大臣の認可を受けなければその効力を生じない。

〔参考1〕 グループ会社関係図

2020年12月末現在



注1: 持分法適用関連会社 注2: 傘下の連結子会社含む

〔参考2〕 日本郵便(連結) 損益計算書 四半期(3か月)単位

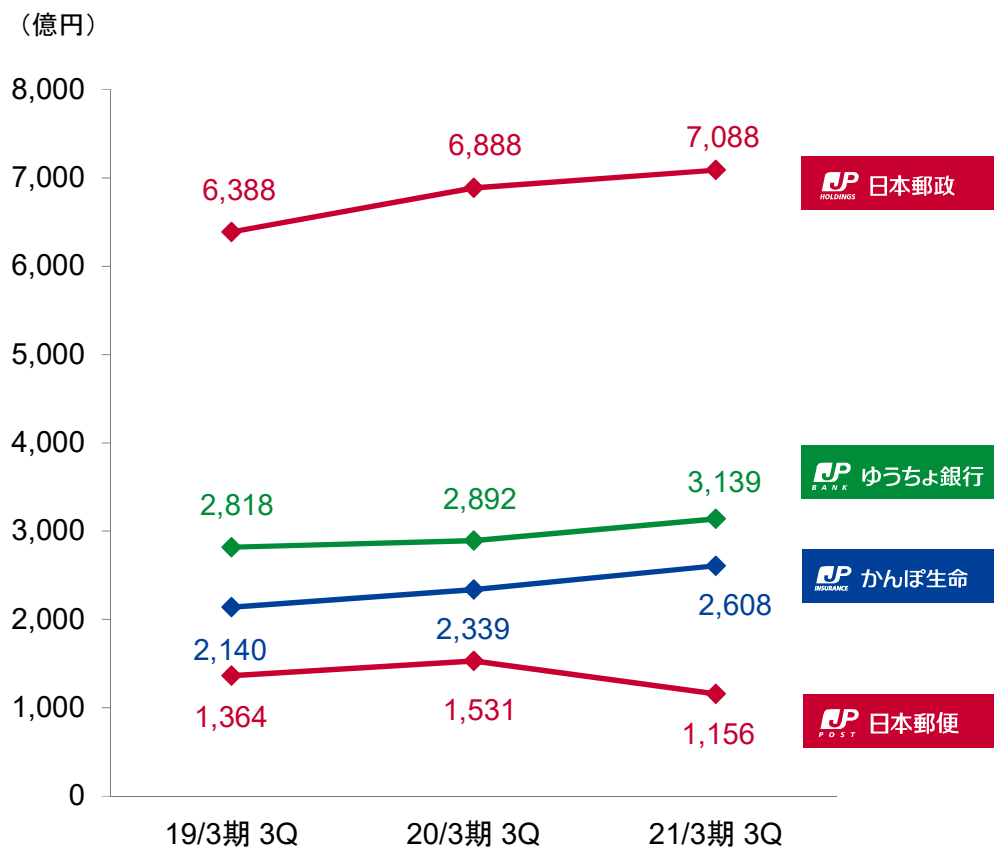
(億円)

	2021/3期			2020/3期			2021/3期			2020/3期		
	1Q(4~6月)	1Q(4~6月)	増減	2Q(7~9月)	2Q(7~9月)	増減	3Q(10~12月)	3Q(10~12月)	増減	3Q(10~12月)	3Q(10~12月)	増減
連 結	営業収益	9,258	9,443	△ 185	9,198	9,256	△ 58	10,579	10,593	△ 14		
	営業費用	9,053	9,040	+ 12	9,222	9,091	+ 131	9,554	9,544	+ 10		
	人件費	5,612	5,874	△ 262	5,653	5,791	△ 138	5,756	5,940	△ 183		
	経費	3,441	3,166	+ 274	3,569	3,300	+ 269	3,798	3,603	+ 194		
	営業損益	204	402	△ 197	△ 24	165	△ 189	1,024	1,049	△ 24		
郵便・ 物流事業	営業収益	4,901	5,015	△ 113	4,725	4,891	△ 165	5,905	6,109	△ 204		
	営業費用	4,747	4,800	△ 52	4,814	4,822	△ 8	5,102	5,200	△ 97		
	人件費	3,051	3,105	△ 53	3,068	3,090	△ 21	3,146	3,232	△ 85		
	経費	1,696	1,694	+ 1	1,745	1,732	+ 13	1,955	1,967	△ 12		
	営業損益	154	215	△ 61	△ 89	68	△ 157	802	909	△ 106		
金融窓 口事業	営業収益	3,039	3,349	△ 310	3,127	3,305	△ 178	3,379	3,392	△ 13		
	営業費用	2,891	3,130	△ 239	3,046	3,163	△ 117	3,191	3,235	△ 43		
	人件費	2,096	2,242	△ 146	2,097	2,187	△ 89	2,115	2,168	△ 52		
	経費	795	888	△ 92	949	976	△ 27	1,075	1,067	+ 8		
	営業利益	147	218	△ 71	80	141	△ 60	187	157	+ 30		
国際物 流事業	営業収益	1,856	1,601	+ 254	1,880	1,581	+ 299	1,905	1,682	+ 222		
	営業費用	1,938	1,620	+ 317	1,859	1,609	+ 250	1,851	1,693	+ 157		
	人件費	463	526	△ 62	486	513	△ 26	494	540	△ 46		
	経費	1,474	1,094	+ 380	1,373	1,095	+ 277	1,357	1,153	+ 203		
	営業損益	△ 82	△ 19	△ 62	20	△ 28	+ 49	53	△ 11	+ 65		

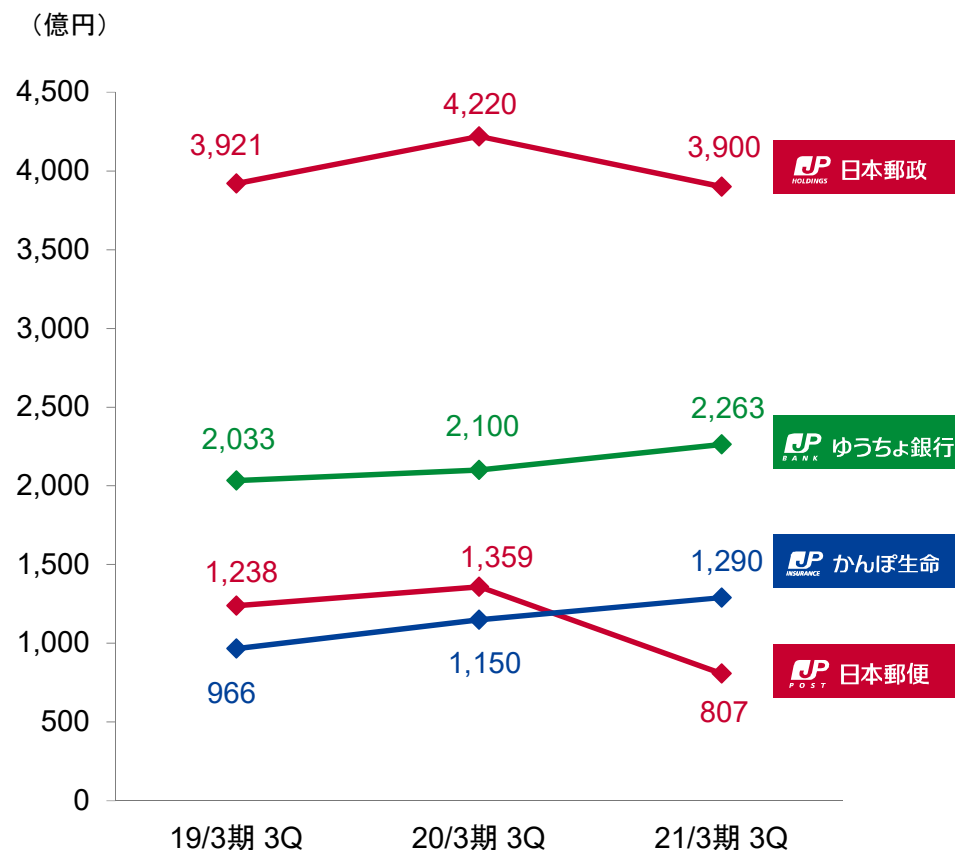
注：国際物流事業の2Q(7~9月)及び3Q(10~12月)数値は、それぞれ期末時点の累計値の円換算額(同期間平均レートで換算)から前四半期末の累計値の円換算額(同期間平均レートで換算)を差し引いて算出。

〔参考3〕 経常利益・四半期純利益の推移

経常利益の推移



四半期純利益の推移



本資料に記載されている通期業績予想等将来に関する記述は、当社が現在把握している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響、金利の変動、株価の変動、為替相場の変動、保有資産の価値変動、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。